

第3期 射水市創生総合戦略

～いそどり ひろがる ムズムズ射水～

令和7年度進捗状況報告書

令和8年8月

射 水 市

目 次

1 報告の趣旨.....	1
2 人口の状況.....	2
3 評価の方法.....	3
4 数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況.....	4
5 令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)活用事業の 効果検証.....	18
6 総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標.....	29

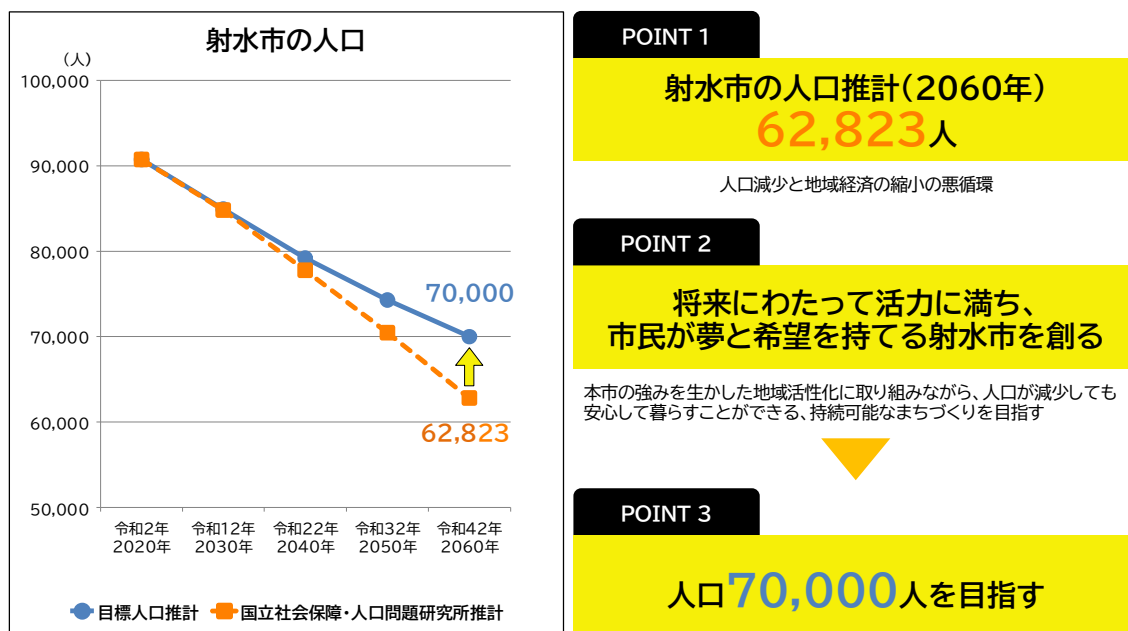
1 報告の趣旨

本市では、第1期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間・平成27年度～令和元年度）、第2期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間・令和2年度～令和6年度）を継承しつつ、第3次射水市総合計画に掲げる新たな将来像「いろどり ひろがる ムズムズ射水」の実現を目指し、社会情勢の変化、市民の価値観やニーズの多様化に的確に対応しながら人口減少の抑制と地方創生を図るため、第3期射水市創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）を令和6年度に策定している。

総合戦略は、4つの基本目標にそれぞれ数値目標を、各施策には重要業績評価指標（KPI）を設定しており、毎年度、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会において、施策の効果検証等を行い、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととしている。

今回は、第3期の初年度である令和7年度の進捗状況について報告するものである。

基本的な考え方



第3期射水市創生総合戦略（計画期間：令和7年度～令和11年度）

基本目標 1

結婚・出産・子育て・学びの環境づくり

基本目標 2

地域のしごとづくり

基本目標 3

安心して暮らせる多様性・寛容性のある地域づくり

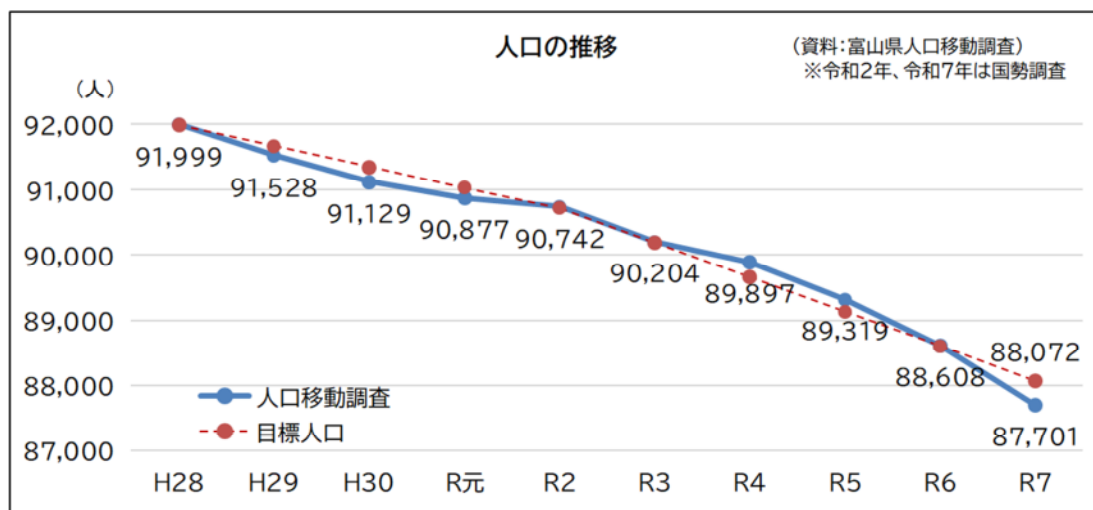
基本目標 4

人が行き交う持続可能なまちづくり

2 人口の状況

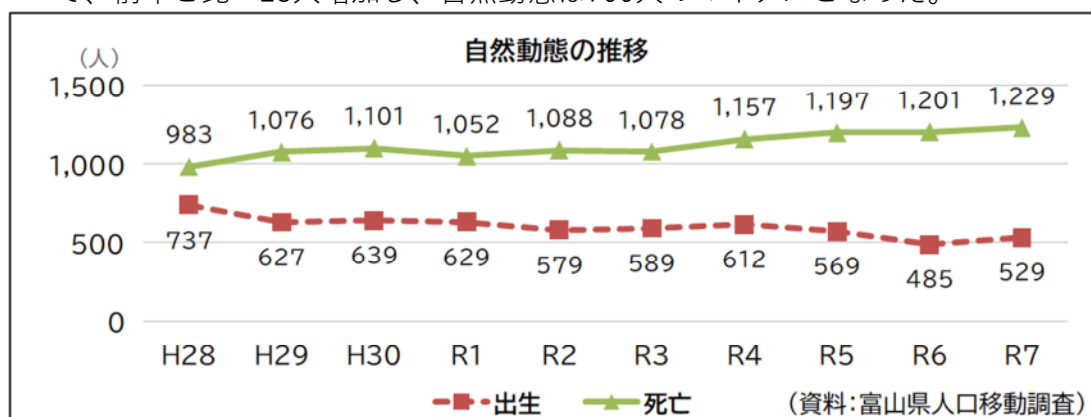
(1)人口の現状

令和7年10月1日現在の本市の総人口は87,701人で、前年と比較して907人、1.02パーセントの減となった。目標人口88,072人を371人下回っており、人口減少が加速している。

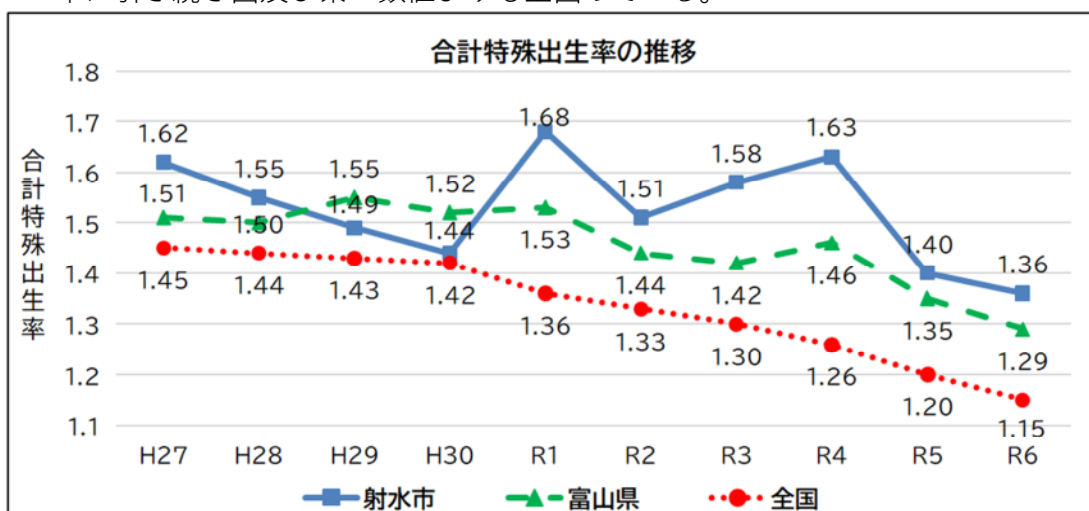


(2)自然動態

① 令和7年の出生者数は529人で、前年と比べ44人増加した。死亡者数は1,229人で、前年と比べ28人増加し、自然動態は700人のマイナスとなった。

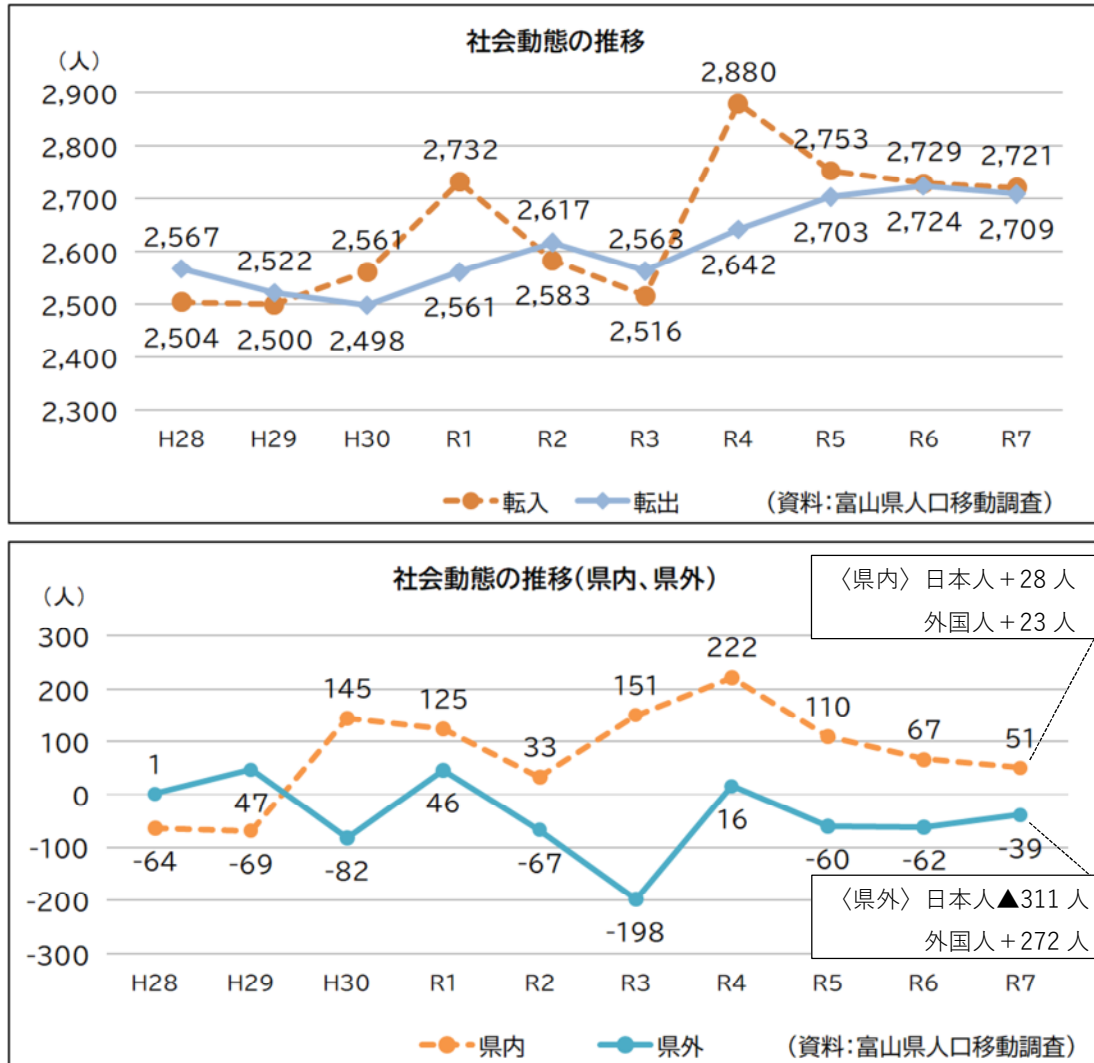


② 令和6年の合計特殊出生率は1.36であり、前年から0.04ポイント下落した。前年に引き続き国及び県の数値よりも上回っている。



(3)社会動態

令和7年の転入者数は2,721人で、転出者数の2,709人を上回り、社会動態は12人のプラスとなった。内訳としては、日本人は283人の転出超過、外国人は295人の転入超過であり、日本人の県内移動は前年と比較して減少しているものの、日本人の県外転出者数は依然として増加傾向にある。



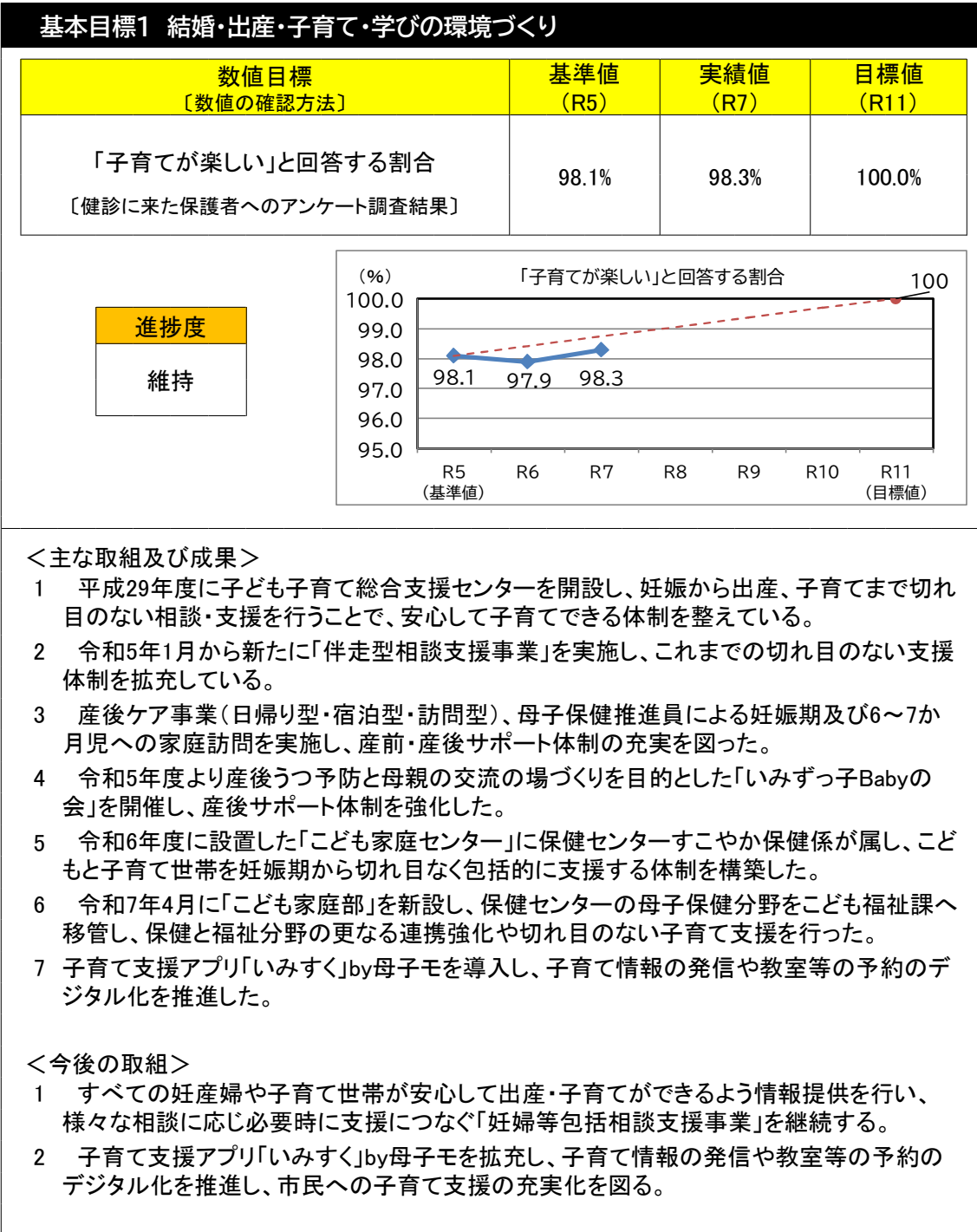
3 評価の方法

第3期射水市創生総合戦略の令和7年度の進捗状況を客観的に検証するため、数値目標及び重要業績評価指標（KPI）を次の5段階で評価を行う。

- (1) 達成 …… 最終年度の目標値を達成している
- (2) 順調 …… 目標値に対して基準値からの進捗率が32%以上
- (3) 概ね順調 …… 目標値に対して基準値からの進捗率が16%以上32%未満
- (4) 維持 …… 目標値に対して基準値からの進捗率が16%未満
- (5) 遅れ …… 基準値を下回っている

※ 既に「達成」となっている施策についても、引き続き施策効果を高める取組を行っていく。

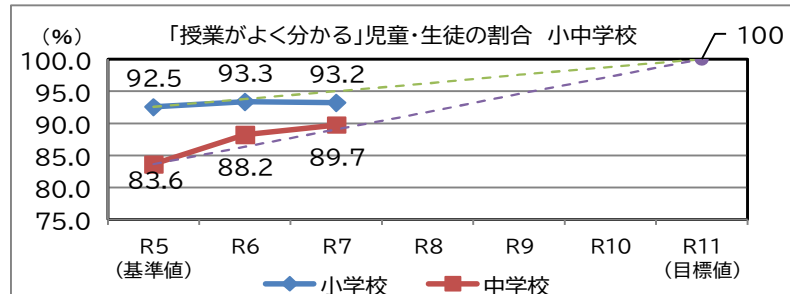
4 数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況



基本目標1 結婚・出産・子育て・学びの環境づくり

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R11)
「授業がよく分かる」児童・生徒の割合 〔毎年全小中学校にて実施するアンケート調査結果〕	小 92.5%	小 93.2%	小 100%
	中 83.6%	中 89.7%	中 100%

進捗度
順調



＜主な取組及び成果＞

- 1 授業において、解決までの見通しをもたせる課題設定や展開の工夫等を示した射水トライアル3点セット(射水スタンダード～授業のABC～、授業研究協議ステージアップ、授業力向上のちょいテク)を意識した実践が浸透してきた。
- 2 授業の基本を一通り身に付けた教員向けに、子どもの主体的な学びを引き出す授業を目指す「授業のABCNext」を作成し、周知を図った。
- 3 若手職員への指導技術の継承を目的とし、射水市マイスター教員の公開授業や学校訪問研究会を生かした授業参観を推奨し、教員の授業力の向上につなげた。
- 4 教員のICT活用指導力に関する研修を実施し、指導方法や指導体制の工夫改善を図るとともに「個に応じた指導」の充実を図ったことで、児童生徒の学習意欲を高めた。
- 5 デジタル教科書やAIドリル等学習支援ソフトの日常的な活用を推進することで、児童生徒が自ら課題を見出し、主体的に学習に取り組む態度が育ってきている。
- 6 学習サポーターを39人、チーム・ティーチング指導員を9人配置し、きめ細やかな学習指導・生活指導を行い、児童生徒の学習等への支援と教員の負担軽減を図った。
- 7 小学校第3学年の希望者を対象に、各校で5名の学習指導員が週1回(年間27回程)、算数の学力補充を目的とした放課後学習を行う「小学生学び応援塾」を5校で実施し、つまりき箇所の強化を図った。

＜今後の取組＞

- 1 個々の児童生徒の学力差に対応した指導の推進を図るため、ICT機器等を積極的に活用し、個に応じた学びと協働的な学びを一層推進する。
- 2 計画的なICT活用等の研修会の実施及びICT支援員等人的な支援の充実を図るとともに、各校で実践されたICTを活用した取組のデータベースの活用を促す。
- 3 「ICTスキルスタンダード」「ICT活用のヒント集」の活用を推進する。
- 4 児童生徒の自己肯定感を高めることによる学習意欲の喚起について継続的に取り組む。

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	2	8	3	4	6

※小学校、中学校で区別されているものは分けて計上

KPI		基準値 (令和5年度)	実績 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)	進捗
1	子育てに自信が持てなくなる親の割合	32.2 %	28.9 %	減少	順調
2	出会いイベント等参加者数	75 人	89 人	140 人	概ね順調
3	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	98.6 %	97.9 %	100 %	遅れ
4	父親が育児に参加する割合	94.6 %	93.2 %	100 %	遅れ
5	特別保育の充足率	53.9 %	57.5 %	58 %	順調
6	ファミリーサポートセンターの利用状況 (年間利用回数/協力会員数)	(利用回数)741 回	1,470 回	900 回	達成
		(会員数)314 人	323 人	400 人	維持
7	子育てに困った時に対応できる親の割合	86.5 %	82.7 %	増加	遅れ
8	子どもの悩みの相談先の認知度	48.2 %	42.2 %	80 %	遅れ
9	「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合	(小学校)87.7 %	(小学校)87.5 %	(小学校)100 %	遅れ
		(中学校)87.8 %	(中学校)88.0 %	(中学校)100 %	維持
10	「地域の行事に参加している」児童生徒の割合	(小学校)69.9 %	(小学校)75.3 %	増加	順調
		(中学校)47.5 %	(中学校)51.6 %	増加	順調
11	授業でICT機器を「ほぼ毎日」使用した児童生徒の割合	(小学校)12.7 %	(小学校)37.8 %	(小学校)100.0 %	概ね順調
		(中学校)10.5 %	(中学校)45.8 %	(中学校)100.0 %	順調
12	コミュニティ・スクールの設置数	0 校	20 校	20 校	達成
13	学びの地域拠点の設置数	0 件	0 件	5 件	維持
14	高等教育機関との連携事業数(累計)	11 件	20 件	40 件	概ね順調
15	親を学び伝える学習プログラムの参加率	29.3 %	53.5 %	70 %	順調
16	放課後子ども教室等参加率	16.1 %	18.5 %	20 %	順調
17	スポーツ指導者数	261 人	282 人	220 人	順調
18	生涯学習講座の年間延べ受講者数(コミュニティセンター27館)	33,061 人	33,431 人	40,000 人	維持
19	市民一人当たりの図書貸出冊数	4.7 冊	4.6 冊	6.3 冊	遅れ

<進捗度が「遅れ」となっている施策の今後の取組等>

- 「3.この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は、妊娠届出時や乳幼児健診、相談会等の機会を捉え、本市の育児サービスについての説明を継続して実施していく。
- 「4.父親が育児に参加する割合」は、妊娠届出時やもうすぐパパママ教室、申請時訪問等の機会を捉え、父親の育児参加についての啓発を継続して実施していく。

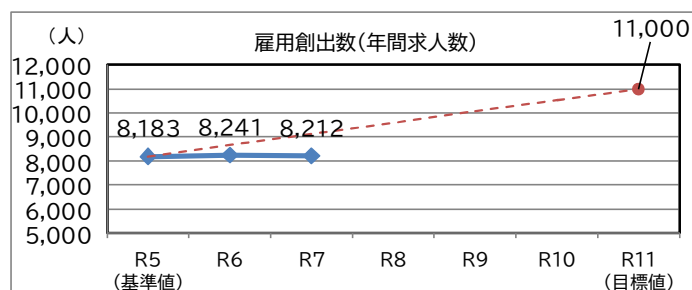
- 「7.子育てに困った時に対応できる親の割合」は、乳幼児健診や相談会、子育て情報アプリ等を通して、子育てで困った時の対応方法や相談先の情報提供を行っていく。
- 「8.子どもの悩みの相談先の認知度」は、市内の保育園・幼稚園の保護者や小学校・中学校の児童生徒への「あんしんルーム」のチラシ配布、ホームページや広報等での周知に加え、月に1～2回の児童館での出張相談で認知度を高めていく。
- 「9.『自分にはよいところがあると思う』児童生徒の割合」は、集団の「学び高め合い」と「いじめ・不登校予防対策」を引き続き支援するとともに、児童生徒の自尊感情を高める学級集団づくりを進める。また、教育アドバイザーによる研修の充実を図り、悩みを抱える児童生徒、保護者及び教職員に対する相談体制の整備に努め、関係機関等と連携して対応に当たる体制の強化を図っていく。
- 「19.市民一人当たりの図書貸出冊数」は、図書館情報の発信強化に取り組むほか、子ども電子図書等を活用し、若年層への図書館利用を促していく。

基本目標2 地域のしごとづくり

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R11)
雇用創出数(年間求人数) 〔ハローワーク高岡管内の年間求人数〕	8,183人	8,212人	11,000人

進捗度

維持



＜主な取組及び成果＞

- 1 コロナ禍に比べ全国的に有効求人倍率は上昇しており、富山県及び高岡管内の有効求人倍率は全国平均を上回っている。
※高岡管内有効求人倍率：H30年度2.06、R1年度1.85、R2年度1.26、R3年度1.56、R4年度1.66、R5年度1.58、R6年度1.55、R7年度1.56(富山県1.47、全国平均1.20)
- 2 市内企業に対して採用動画作成費の補助を実施するとともに、求職者に対しては市内企業を巡るバスツアーや合同企業説明会を開催した。
- 3 R7年度からインターンシップ実施を伴走的にサポートする事業を開始し、市内企業の雇用確保を支援した(R7年度支援企業：20社)。
- 4 ビジネス支援センターにおいて新規事業や経営課題に関する相談や起業相談を行い、様々な企業のマッチングにつなげるため交流イベント等を開催した。
- 5 企業団地の早期完売に向け、幅広い業種に対し積極的な企業誘致活動を行った。

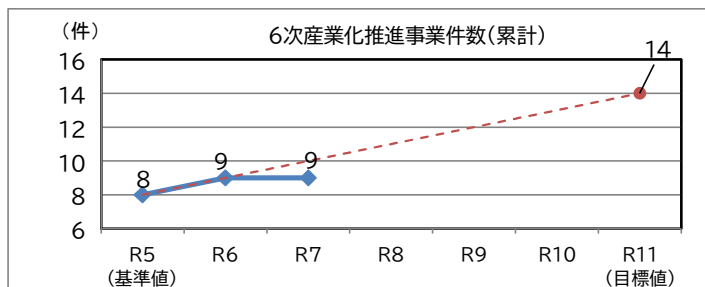
＜今後の取組＞

- 1 市内企業の採用活動を支援するため、動画制作費用に加え、ホームページや採用ツールなどコンテンツ制作費に対する補助を充実させ、企業の採用力向上を図る。
- 2 学生が市内企業の現場に出向き、業務内容に理解を深めるバスツアーの開催経費を引き続き支援する。
- 3 インターンシップを中心とした市内企業への伴走支援、マッチングを促進させるイベントの開催、異業種の連携推進や創業・事業承継を支援するため、ビジネス支援センターによる相談支援やイベントを開催する。
- 4 引き続き、企業団地の早期完売に向け、積極的な企業誘致に取り組む。

基本目標2 地域のしごとづくり

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R11)
6次産業化推進事業件数(累計) 〔補助事業を活用して6次産業化に取り組んだ事業者数〕	8件	9件	14件

進捗度
概ね順調



<主な取組及び成果>

- 令和7年12月に設置した「射水市アグリテックバレー推進サポートセンター(Farmer's Door IMIZU)」において、6次産業化に取り組む農業者の掘り起こしや新商品開発に向けた調査を開始した。

<今後の取組>

- 富山6次産業化サポートセンターによる、専門的な指導助言を積極的に活用し、6次産業化を推進する。
- 6次産業化による新商品開発等に向け、国県の補助事業を積極的に活用する。
- 射水市アグリテックバレー推進サポートセンターにおいて、6次産業化に取り組む農業者の掘り起こしや新商品開発に努める。

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	3	1	1	7	4

KPI	基準値 (令和5年度)	実績 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)	進捗
20 産学官金共同研究の年間件数	6 件	4 件	17 件	遅れ
21 製造品出荷額等	(R3) 5,604 億円	(R5) 6,320 億円	(R9) 6,100 億円	達成
22 中小企業販路拡大支援事業における成約率	33 %	26.0 %	36 %	遅れ
23 農産物の販売額	2,678 百万円	3,697 百万円	2,877 百万円	達成
24 農業法人の経常利益額	351 百万円	1,406 百万円	572 百万円	達成
25 1人当たりの漁業所得	(R4) 5,674 千円	(R6) 5,790 千円	(R10) 6,071 千円	概ね順調
26 担い手への農地集積率	86.2 %	88.2 %	90 %	順調
27 新規就農者数(累計)	(R1～R5累計) 3 人	4 人	10 人	維持
28 化学肥料低減の取組面積(緑肥)	57.8 ha	63.7 ha	115 ha	維持
29 新規漁業就業者数(累計)	(R1～R5累計) 6 人	(R6～R7累計) 6 人	10 人	維持
30 企業団地分譲率	97.1 %	97.5 %	100 %	維持
31 創業支援事業補助金利用件数	24 件	20 件	29 件	遅れ
32 サテライトオフィス等開設支援事業件数	1 件	2 件	12 件	維持
33 障がい者雇用奨励件数	3 件	2 件	7 件	遅れ
34 ゆとりライフ互助会加入者数	692 人	702 人	761 人	維持
35 女性の管理職比率	12.5 %	12.5 %	30 %	維持

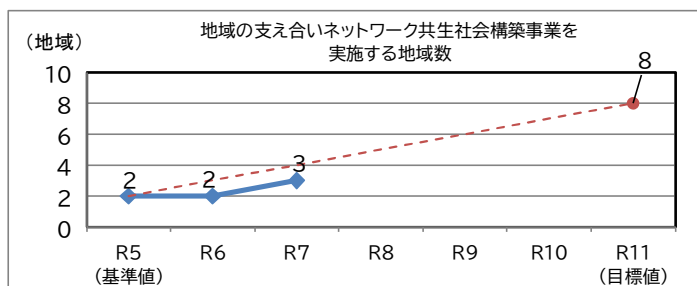
<進捗度が「遅れ」となっている施策の今後の取組等>

- 「20.産学官金共同研究の年間件数」は、令和7年度に開設した射水市ビジネス支援センター「Switch IMIZU」を軸とし、大学や研究機関等との連携を図っていく。
- 「22.中小企業販路拡大支援事業における成約率」は、商談数510件のうち、成約数(継続含む。)は133件となった。今後も引き続き、販路拡大支援事業補助金の認知度を高めることで利用者の増加を図り、市内企業の活動を支援していく。
- 「31.創業支援事業補助金利用件数」は、市・商工会議所・商工会の3者による情報連携や創業サポートセミナーの実施を継続するほか、創業者と廃業検討者とを結び事業継承を促進する仕組みの検討や、創業無関心層へのアプローチを行う。
- 「33.障がい者雇用奨励件数」は、ハローワーク高岡との共催で、職場における精神・発達障害者のサポーターとなるための「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」を引き続き実施するなど、障がい者を雇用する事業主の支援に取り組んでいく。

基本目標3 安心して暮らせる多様性・寛容性のある地域づくり

数値目標	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R11)
地域支え合いネットワーク共生社会構築事業を実施する地域数 〔地域共生社会に向けた取組を実施する地域数〕	2地域	3地域	8地域

進捗度
概ね順調



<主な取組及び成果>

- 1 地域の多様な世代が集い地域の課題を共有するプラットフォームの創出及びその課題解決に向けた取組を支援しており、令和7年度は新たに庄西地域が事業を開始した。

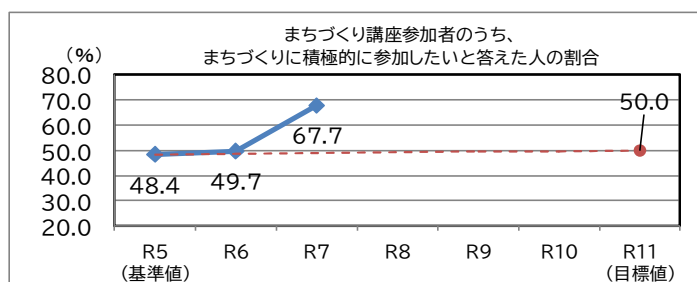
<今後の取組>

- 1 地域支え合いネットワーク事業実施地域のうち、居場所づくりに取り組む地域に対して相談機能を備えた常設型の居場所運営を働きかけていく。

基本目標3 安心して暮らせる多様性・寛容性のある地域づくり

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R11)
まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合 〔まちづくり講座(まちプラ、まちづくりセミナー等)への参加者に対するアンケート調査結果〕	48.4%	67.7%	50.0%

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

- 1 「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」を実施し、地域振興会や地域に根差した活動をしている団体の活動を体験したり、市の公共施設をめぐるなど、まちづくりに参画する市民の裾野を広げるよう努めた。
- 2 「射水まちづくりセミナー」を実施し、SNSの効果的な発信方法を学ぶ講座やゲーム形式でまちづくりを体験する講座を開催し、参加者のスキルアップを図った。
- 3 「女性活躍推進セミナー」を実施し、市内外で活躍している女性を講師に迎え、女性の地域活動の参加を後押しし、地域活性化の促進を図った。

<今後の取組>

- 1 引き続き民間団体と連携し、協働のまちづくりへの理解を広め、参画意識を高めていく事業を実施する。
- 2 地域に対する愛着を深め、まちづくりに積極的に参加しようとする機運の醸成に努める。また、参加者アンケートを実施し、事業効果の検証を行う。

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	3	10	11	8	8

※男性、女性で区別されているものは分けて計上

	KPI	基準値 (令和5年度)	実績 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)	進捗
36	市街化区域内農地の宅 地転換率	19.1 %	25.9 %	29.6 %	順調
37	主要幹線道路の改良率	51.9 %	58.3 %	85 %	概ね 順調
38	歩道の設置割合	48.4 %	48.1 %	49 %	遅れ
39	海上出入貨物量	4,322 千トン	4,024 千トン	4,573 千トン	遅れ
40	旅客船接岸数	1 回	1 回	5 回	維持
41	上水道管路耐震化率	51.4 %	52.7 %	55.5 %	概ね 順調
42	上水道管路経年化率	28.9 %	32.8 %	38.0 %	遅れ
43	下水道老朽管路改善率	46.0 %	47.2 %	70 %	維持
44	地域内循環交通の運行 体制整備件数	4 件	7 件	8 件	順調
45	公営住宅長寿命化改善 率	42.9 %	50.0 %	85.7 %	概ね 順調
46	空き家等情報バンクや補助制度等 を利用した空き家の利活用数	33 件	46 件	80 件	概ね 順調
47	都市公園長寿命化整備 率	17.5 %	35.0 %	63.3 %	順調
48	基幹的な公園へのインクルー シブ遊具の設置数(累計)	0 基	1 基	6 基	概ね 順調
49	地域振興会から推薦され資 格取得した防災士数	92 人	123 人	212 人	概ね 順調
50	地区防災計画策定数	1 地域 振興会	11 地域 振興会	27 地域 振興会	順調
51	雨水対策事業整備率	35.0 %	35.6 %	42 %	維持
52	避難行動要支援者登録 率	45.4 %	45.6 %	52 %	維持
53	消防団員の充足率	86.4 %	88.9 %	100 %	概ね 順調
54	地域ぐるみ除排雪機械台 数	79 台	83 台	82 台	達成
55	消雪施設遠隔監視システ ムの導入割合	44.2 %	85.7 %	100 %	順調
56	交通事故死者数	2 人	2 人	0 人	維持
57	犯罪発生件数	301 件	347 件	270 件	遅れ
58	消費生活教室受講者数	688 人	478 人	1,300 人	遅れ
59	多様な価値観の理解に関す る講座等の参加者数	195 人	247 人	220 人	達成
60	男性の育児休業取得率 (産後パパ育休を含む)	49.1 %	73.1 %	80 %	順調

KPI		基準値 (令和5年度)	実績 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)	進捗
61	審議会等における女性委員の登用率	25.2 %	29.0 %	40 %	概ね順調
62	子どもが、家族や周りの大人から「自分は大切にされている」と回答する割合	98.7 %	99.0 %	100 %	概ね順調
63	生活困窮者等で就労支援を受けた人が就労した割合	78.7 %	58.3 %	90 %	遅れ
64	犬猫に関する相談苦情件数	27 件	41 件	63 件	概ね順調
65	多職種連携支援システムの利用者数(累計)	261 人	430 人	500 人	順調
66	在宅で生活する障がい者等の緊急時の受入可能事業所数	0 か所	5 か所	7 か所	順調
67	射水市シルバー人材センター会員数	645 人	644 人	655 人	遅れ
68	認知症サポーター養成者累計人数	16,081 人	17,685 人	21,100 人	概ね順調
69	健康寿命	(男性) 79.7 歳	80.3 歳	延伸	順調
		(女性) 83.9 歳	83.9 歳	延伸	維持
70	特定健康診査(受診率/保健指導実施率)	^(R4) (受診率) 49.2 %	^(R6) 49.7 %	^(R10) 60 %	維持
		^(R4) (保健指導) 40.6 %	^(R6) 38.2 %	^(R10) 60 %	遅れ
71	休日・夜間診療の年間実施率	100 %	100 %	維持	達成
72	一般病床稼働率	69.9 %	73.8 %	75 %	順調
73	予防接種率(麻しん・風しん)	96.6 %	96.8 %	98 %	維持

<進捗度が「遅れ」となっている施策の今後の取組等>

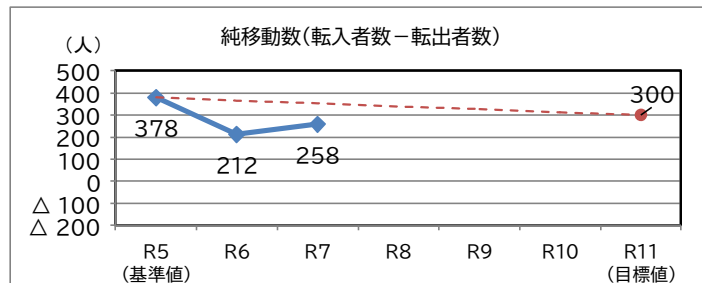
- 「38.歩道の設置割合」は、改良済み市道の延長に占める歩道が設置されている道路延長の割合であり、歩道がない改良済み市道延長が増加したため基準値より数値は下がっている。今後も安全安心な歩行空間を確保した市道整備を計画的に進める。
- 「39.海上出入貨物量」は、他国の国内事情による輸出制限の影響により数値が下がったものと考えられる。今後も引き続き、船舶の大型化等に対応できる港湾機能の拡張やふ頭整備等について国や県に働きかけを行っていく。
- 「42.上水道管路経年化率」は、基幹管路の更新を優先していることなどにより更新延長が伸びていない。長寿命化と合わせた計画的かつ効果的な更新に努めていく。
- 「57.犯罪発生件数」は、関係団体と連携市ながら防犯啓発事業に取り組み、住民の防犯意識の向上や特殊詐欺に対する認知度向上を図っていく。
- 「58.消費生活教室受講者数」は、消費者問題の予防と解決に繋げる消費生活教室の受講を、引き続き市内団体等に働きかけていく。
- 「63.生活困窮者等で就労支援を受けた人が就労した割合」は、就労支援員の配置を継続し、自立相談支援機関及びハローワークとの連携を図りながら、引き続き就労支援事業を実施していく。
- 「67.射水市シルバー人材センター会員数」は、社会環境の変化等により新規会員の加入が伸び悩んでいるが、引き続き新規会員の加入促進を図られるよう広報を行っていく。
- 「70.特定健康診査(保健指導実施率)」は、数値は下がっているが実施者数はほぼ維持している。今後は対象者への案内を見直し、参加率の向上を図っていく。

基本目標4 人が行き交う持続可能なまちづくり

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R11)
純移動数(転入者数－転出者数) 〔富山県人口移動調査〕	378人	258人	300人

※直近5年間の累計

進捗度
遅れ



<主な取組及び成果>

- 1 移住と空き家利活用の相談窓口「#みらいシテン射水」の設置・運営により、移住検討者等へのトータルサポートを実施した。(R6～)
- 2 転入を機とした住宅取得支援「いみず住まい等応援事業補助金」の実施により、新築住宅や空き家の取得に対して支援を行った。(R5～R7)
- 3 首都圏をはじめ県外に在住または勤務している本市出身の若者を対象に交流イベントを開催し、Uターンを見据えた方を対象にふるさと射水との関係の再構築を図った。(R7～)

<今後の取組>

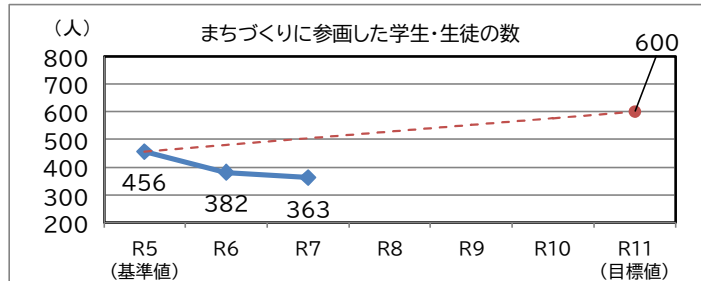
- 1 技能実習生など外国人の転入が多いことから、多言語対応や地域との繋がりを大切にする取組を進め、外国人にとっても住みよいまちづくりを進める。
- 2 様々な補助制度の活用を含め、移住相談窓口を通じた取組を引き続き進めるとともに、将来的なUターンを見据え、進学等を機に県外に転出した若年層との関係構築に努め、更なる移住促進を図っていく。
- 3 市外への流出に歯止めをかけるため、若年層に魅力的な企業の誘致に取り組む。

基本目標4 人が行き交う持続可能なまちづくり

数値目標 〔数値の確認方法〕	基準値 (R5)	実績値 (R7)	目標値 (R11)
まちづくりに参画した学生・生徒の数 〔「学生のまちづくり推進会議」「高等学校との連携事業」等に 参加した学生・生徒数〕	456人	363人	600人

進捗度

遅れ



<主な取組及び成果>

- 1 地域のまちづくりに関心のある学生や高校生で組織された「射水ユースクリエイト」を運営し、市の魅力を発信するための取組を企画・実施した。
- 2 学生の意見を生かしたまちづくりを推進するため、地域課題の解決に向けた提案を学生から募集し、提案発表を行う「いみず学生アイデアコンテスト」を実施した。
- 3 市内県立高等学校との連携を推進するため、各高等学校の提案に基づく連携推進事業を実施し、連絡会議の中で成果発表と意見交換を行った。

<今後の取組>

- 1 まちづくりへの参画を通じて若者世代の地域への愛着醸成につなげることはシティプロモーションの観点からも重要な取組であると考えており、ふるさと住民登録制度も開始することから、進学・就職を機に本市から転出する若者とのつながりの継続にも取り組んでいく。

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	5	7	3	5	8

KPI	基準値 (令和5年度)	実績 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)	進捗
74 観光客入込数	3,484,574 人	3,401,435 人	4,500,000 人	遅れ
75 市内宿泊者数	73,565 人	108,676 人	155,000 人	順調
76 内川周辺エリアへの新規 出店数	21 件	42 件	27 件	達成
77 観光集客施設立地促進助成 金制度利用数(累計)	5 件	5 件	10 件	維持
78 ふるさと納税における寄 附額	309,263 千円	259,120 千円	459,394 千円	遅れ
79 移住相談窓口や制度を活用 した市外からの移住者数	116 人	407 人	210 人	達成
80 ホームページのアクセス 数	1,188,184 件	1,682,981 件	938,000 件	順調
81 SNS(X、Instagram、YouTube等) のフォロワー・チャンネル登録者 数	10,699 人	11,621 人	17,000 人	維持
82 多文化共生キーパーソン 登録者数	23 人	30 人	50 人	概ね 順調
83 交流事業参加者数	666 人	894 人	700 人	達成
84 コンベンション開催事業等で の県外からの宿泊者数	954 人	1,193 人	2,000 人	概ね 順調
85 スポーツ合宿の誘致数	1 件	4 件	30 件	維持
86 多様な主体が連携した市 民協働事業の割合	6.3 %	5.0 %	20 %	遅れ
87 地域型市民協働事業数	36 件	36 件	40 件	維持
88 学生・生徒からの政策提 案の数	28 件	27 件	20 件	順調
89 環境基準の達成率	95 %	90.6 %	100 %	遅れ
90 里山等での保全・交流団 体数	6 団体	7 団体	7 団体	達成
91 アダプト・プログラム清掃 活動参加人数	5,243 人	5,186 人	7,600 人	遅れ
92 市民1人当たりのごみ排 出量	(基準値R4) 1,042 g	(R6) 1,022 g	(R10) 983 g	順調
93 リサイクル率	(基準値R4) 19.5 %	(R6) 19.6 %	(R10) 23.4 %	維持
94 温室効果ガス排出量	(基準値R3) 961 千t- CO2	(R5) 898 千t- CO2	(R9) 751 千t- CO2	概ね 順調
95 指定文化財及び登録文 化財の件数	150 件	150 件	維持	達成

	KPI	基準値 (令和5年度)	実績 (令和7年度)	目標値 (令和11年度)	進捗
96	コンビニ交付サービス利用率	29.0 %	35.1 %	37 %	順調
97	公共施設等に関する公民連携事業の実施数	8 件	15 件	19 件	順調
98	行財政改革集中改革プラン進捗状況	65.0 %	60.3 %	100 %	遅れ
99	呉西圏域連携事業のうち、目標を達成した事業の割合	71.9 %	66.7 %	80 %	遅れ
100	オンライン化手続率	20.4 %	54.3 %	100 %	順調
101	テレワーク制度利用者数 (年間延べ人数)	123 人	44 人	400 人	遅れ

<進捗度が「遅れ」となっている施策の今後の取組等>

- 「74.観光客入込数」は、道の駅リニューアル工事に伴い、入込数が一時的に減少している。今後も観光情報の発信を強化するほか、更なるインバウンド観光誘客に取り組む。
- 「78.ふるさと納税における寄附額」は、人気の高い返礼品のPR強化に加え、事業者と連携した新たな返礼品の開発を進めることで、本市の特産品の魅力を広く発信し、寄附額の増加につなげていく。
- 「86.多様な主体が連携した市民協働事業の割合」は、公募提案型市民協働事業は9件採択したが、多様な主体が連携した事業がなかったため、累計の割合が低下した。今後も引き続き民間団体間の連携強化を図っていく。
- 「89.環境基準の達成率」は、各種環境調査を継続して実施し、著しい悪化が表れた場合は原因究明のため追加調査を実施する。
- 「91.アダプト・プログラム清掃活動参加人数」は、参加団体数はほぼ横ばいであるが、参加者人数は減少傾向にある。今後もホームページ等で制度周知を行っていく。
- 「98.行財政改革集中改革プラン進捗状況」は、令和7年度改訂版集中改革プランに60の取組を掲載し、行財政改革の推進に取り組んでいる。引き続き取組の完了に向けて進捗管理に努めていく。
- 「99.呉西圏域連携事業のうち、目標を達成した事業の割合」は、令和3年度から7年度までを計画期間とする第2期都市圏ビジョンに基づき取り組んだ33事業のうち、KPIを達成できた事業数は22事業となった。今後も第3期都市圏ビジョンに基づき、連携事業を効果的に実行できるよう6市で連携して取り組んでいく。
- 「101.テレワーク制度利用者数（年間延べ人数）」は、申請手続きの見直しを行い、1回の申請における最大利用期間を1週間から1か月に拡大したことにより、申請件数が減少した。今後も制度の周知・利用促進に努めていく。

5 令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)活用事業の効果検証

令和7年度に国の新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)を活用した事業は、以下のとおりです。

①誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクト 【市単独実施事業】

事業費 113,661千円
交付金額 56,830千円

<計画概要> R6～R8

空き家や空き店舗を地域資源として捉えて、それらを活用して新しい暮らしや仕事を始めたい人がチャレンジしやすい環境をつくることで、日常的に人が集い交流が生まれるエリアを生み出す。さらにエリアの魅力を広く発信して地域外からの関心を集め、合わせてエリアへのアクセスの利便性を向上させる2次交通を確保してエリア内外の人の流れを創出することで、持続可能な好循環が生まれる地域づくりを目指す。

- ①新しい暮らし方への挑戦(活動・移住・仕事)応援
空き家の利活用による移住や創業・事業承継の推進、多様な人々(地域住民や経営者、移住者、学生等)が交流する居場所づくりなど、新しい暮らしを希望する人を呼び込むための体制を整備する。
- ②エリア外からの人の関心を集める風土づくり
エリア外からの人の関心を集めて関係人口の増加を図るために、エリアの持つ魅力の認知度を高めるとともに、環境改善を図りエリアの価値向上を目指す。
- ③新たな人流を生み出す地域交通
自家用車に代わる移動手段を確保してエリア内の人の流れを創出するために、新湊の旧市街地等のエリアでAIデマンド型の地域公共交通を実証運行するほか、電動キックボード等の新たな交通手段を導入して移動の利便性向上を図る。また、夜間公共交通の運行により、都市中核拠点間をつなぐ交通ネットワークの形成を推進する。

KPI		R5	R7	R8
新湊及び小杉地区の旧市街地エリアの人口	目標値		10,335人	10,199人
	実績値	10,631人	10,097人	
空き物件チャレンジショップ応援事業補助金交付件数	目標値		10件	10件
	実績値	0件	0件	
あいの風とやま鉄道小杉駅乗車数(1日当たり)	目標値		3,140人	3,200人
	実績値	3,020人	3,265人	
内川エリア(川の駅新湊)年間来訪者数	目標値		43,200人	44,000人
	実績値	41,600人	43,766人	

<令和7年度の主な取組及び成果>

- 内川周辺エリアリノベーションまちづくり推進事業として、リノベーションスクールの開催を通じて、空き家を活用した事業化を希望する民間プレイヤーの発掘を行ったほか、内川の価値を未来へとつないでいくためのワークショップも行った。
他にも移住・空き家トータルサポート事業として、移住検討者や空き家利活用希望者をサポートするワンストップ窓口を引き続き民間事業者に委託して運営し、民間ならではのアイデアやノウハウを生かした情報発信や暮らし体験の提供、移住後を見据えた相談対応を行い、実際の移住につなげた。また、首都圏をはじめ県外に転出した本市ゆかりの20代の若者が交流するイベントを開催し、Uターンを見据えてふるさと射水との関係の再構築につなげた。
- 内川に関するホームページの整備や現地の案内看板のデザインをリニューアルすることで、内川周辺エリアの効果的な情報発信や、来訪者がまちなみを楽しめるよう案内誘導機能を強化したほか、内川まちなみづくり構想の実現のため、内川まちなみづくりガイドラインを作成した。
- 自家用車に頼らないまちづくりと新たな人流の創出を目的として、電気三輪自動車及び電動カート等の実証運行を内川周辺を含む射水ベイエリアで実施した。
また、太閤山地区内で電動キックボード等の実証実験、交通ルールを周知するための安全講習会を行い、新たな移動手段としての可能性を確認することができた。

<令和8年度以降の取組>

エリアリノベーションまちづくりや創業・事業承継の推進、魅力的なまちなみ形成等、これまでの取組を継続して稼げる循環システムを構築し、人流イノベーションシティを創造する。

②射水市道の駅新湊等整備運営事業【市単独実施事業：拠点整備タイプ】

事業費 779,762千円
 交付金額 385,458千円

<計画概要>R6～R7

躯体の劣化が進んでいた道の駅新湊の大規模改修を行うとともに、新湊農村環境改善センターの用途を廃止し、道の駅新湊別館としてリニューアルを行う。また、道の駅周辺エリアの中心を分断する市道作道228号線を隣接地に付け替え、市道部分を歩行者専用エリアとして整備し、エリア内の回遊性を向上させる。

- 道の駅新湊
 - 物販及びカフェテリア機能に特化した「minami court」(仮称)として改修
- 新湊農村環境改善センター
 - フードホール機能に特化した「kita court」(仮称)として改修
- 市道作道228号線
 - エリア北側に付け替え、旧市道エリアを歩行者専用エリア「center court」(仮称)に整備
- 新湊農村環境改善センター西側隣接地
 - 駐車場を新設

KPI		R5	R7	R11
地域における観光消費額	目標値		880,000千円	1,204,000千円
	実績値	947,590千円	821,191千円	
道の駅新湊売上総額	目標値		330,150千円	555,097千円
	実績値	400,828千円	312,345千円	
スマートフォンGPSデータに基づく道の駅周辺エリア来訪者数	目標値		271,590人	456,665人
	実績値	329,040人	287,685人	
6次産業化推進事業件数(累計)	目標値		1件	5件
	実績値	1件	1件	

<令和7年度の主な取組及び成果>

道の駅周辺エリア構想に基づき、運営事業者のアイデアとノウハウを最大限に反映するためPPP手法のひとつであるDBO手法を活用し、令和7年11月にリニューアルオープンした。

<令和8年度以降の取組>

道の駅周辺エリアの更なる賑わい創出に向け、引き続き事業者と一体的にエリアの活性化に取り組んでいく。

③持続可能で競争力の高い農林水産業実現プロジェクト【県連携事業】

事業費 14,674千円
 交付金額 7,300千円

<計画概要> R7～R9

今後、ますます人口減少が進行し、就業者が高齢化するなかでも、多様な担い手により本県の農林水産業が持続的に成長すること、生産コストに見合った合理的な価格形成により物価高騰の中でも食料システムが維持されること、また、高温等の気候変動にも打ち克つ農林水産業を推進することなどにより、将来にわたり県民に安全・安心な食料が安定的に供給され、本県の食料安全保障が確保され、ひいては日本全体の食料安全保障への貢献を目指す。

- 人口減少に適応した担い手確保事業
 新規就農者の確保・育成、多様な人材の活用
- 物価高騰や気候変動に適応した持続的な収量の確保・事業継続事業
 リーディング経営体の育成・集落営農の後継者対策、生産性・収益性の向上

KPI		R6	R7※	R9
農業算出額	目標値		588億円	628億円
	実績値	568億円	－	
新規就農者数	目標値		100人	120人
	実績値	78人	－	
輸出に取り組む事業者数	目標値		84者	114者
	実績値	69者	－	
県産材素材生産量	目標値		137,500m ³	148,000m ³
	実績値	130,000m ³	－	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため未記載

<令和7年度の主な取組及び成果>

「射水市アグリテックバレー推進サポートセンター（Farmer's Door IMIZU）」を民間事業者へ委託して設置し、下記の事業に取り組んだ。

- 1 新規就農者のワンストップ相談窓口を設置し、新規就農者の確保・育成に取り組んだほか、多様な人材の活用に向け、農福連携や若者・女性ネットワークの活用について調査した。
- 2 リーディング経営体のモデルとするべく、複合経営に取り組んでいる農業経営体を調査したほか、射水市産農産物の販売先の新規開拓に努めた。

<令和8年度以降の取組>

セミナーや体験ツアー、マッチングイベントの開催等により、引き続き新規就農者の確保に努めていくほか、ITを活用した農業DXの推進や農家と企業とのマッチング等により、生産性・収益性の向上に努めていく。

④能登半島地震からのとやま観光復興プロジェクト～持続可能性を高め、自然や歴史、伝統など
かけがえのない滞在価値を未来へ～【県連携事業】

事業費 4,500千円
交付金額 2,250千円

＜計画概要＞R7～R9

能登半島地震からの一刻も早い観光需要の回復を目指すとともに、担い手の確保が難しくなる中でも、インバウンド需要の取り組み等により観光業の持続可能を高め、自然や歴史、伝統、文化など、富山の観光業を支える地域の滞在価値や魅力を、災害があっても負けず、未来に向けて承継していくための取り組みを進めていく。

●能登半島地震からの観光需要の回復と、持続可能性の高い観光地域づくりの推進

能登半島地震で影響を受けたエリアへの誘客強化による観光需要の回復、持続可能な観光地域づくりの推進

●サステナブルツーリズムやアドベンチャーツーリズムなど新たに観光を取り巻く環境変化への対応と受入環境整備

地域の歴史・伝統・文化の維持・承継に向けて～地域一体となった受入環境整備・インバウンド需要の取り込み～

KPI		R6	R7※	R9
地域(富山県)における観光消費額	目標値		1,880億円	1,980億円
	実績値	1,830億円	－	
県西部6市(氷見、高岡、射水、小矢部、南砺)の観光入込数	目標値		15,522千人	17,102千人
	実績値	14,732千人	－	
県内の宿泊施設稼働率	目標値		57.7%	62.7%
	実績値	55.2%	－	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため未記載

＜令和7年度の主な取組及び成果＞

- 1 訪日台湾人観光客の誘致促進のため、高岡市・氷見市と連携し、台湾旅博(TiTE)に出展し、商談会を実施した。市内へのインバウンド誘客を強化した。
- 2 とやま観光推進機構と協力して、女性視座に基づくマーケティング事業に参加することで得た知見を、ホームページのリニューアルやSNSの情報発信に活かした。

＜令和8年度以降の取組＞

- 1 引き続き、観光需要の回復に向けて、訪日台湾人観光客の誘致促進に向けた取組を行う。
- 2 引き続き、とやま観光推進機構を中心に、連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力の上、特に当該市の観光振興施策に取り組む。

⑤県内企業の持続的発展”TX(Toyama Co. Ltd. Transformation)”推進プロジェクト
【県連携事業】

事業費 4,400千円
交付金額 2,200千円

＜計画概要＞R7～R9

県内企業による賃上げが経済の活性化、生産性やスキルの向上をもたらし、それがさらなる賃上げにつながる構造的賃上げを実現することで、県内企業の魅力を向上させる。そして、UIターン就職者や外国人材、障害者など多様な人材が魅力的な県内企業に引き寄せられることで、県内企業による多様な人材の活用を推進し、県内企業の持続的な発展を目指す。

●県内企業の多様な人材確保・活用支援事業

インターンシップ実施の支援、採用HPの作成及び市内企業の特集ページの掲載

KPI		R6	R7※	R9
地域へのUIターン就職者数	目標値		166人	186人
	実績値	156人	－	
県内大学生等の県内就職者割合	目標値		61.8ポイント	63.8ポイント
	実績値	60.8ポイント	－	
県内企業情報発信サイトの登録企業数	目標値		1,270社	1,610社
	実績値	1,100社	－	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため未記載

＜令和7年度の主な取組及び成果＞

インターンシップ伴走支援を20社に実施するとともに、マッチングサイトの開設及び交流イベントを開催し、市内企業の認知向上や企業と求職者のマッチング機会の創出を図ったことで、これまでインターンシップを実施したことがなかった企業において、採用活動への第一歩を後押しするきっかけとなった。

＜令和8年度以降の取組＞

引き続き、インターンシップ伴走支援やマッチング機会の創出に取り組むことで、市内企業の持続的な人材確保を支援する。

⑥富山県スポーツによる関係人口の創出と地域活性化プロジェクト【県連携事業】

事業費 10,390千円
 交付金額 5,195千円

＜計画概要＞R7～R9

本県のスポーツ環境の充実・魅力向上等の取組を通じて、県内外からのスポーツ大会参加者や観戦者による交流人口の増加、観光消費の増加やスポーツ産業振興による地域への経済波及効果、スポーツチームの応援を通じた地域への愛着やシンビックプライド醸成による人口流出の抑制・社会増、域外からのヒト・カネの好循環を生み出しスポーツによる「稼ぐ力」を高める。

- 県内スポーツ環境PR・大会合宿誘致・開催による関係人口の創出
 スポーツコミッション先進地視察、スポーツコミッション講演会、オリンピック講演会
- スポーツチームを活用した地域活性化
 水鉄砲を使ったニュースポーツ大会の開催

KPI		R6	R7※	R9
県内プロスポーツチーム年間観客総数	目標値		209,858人	214,598人
	実績値	207,488人	－	
スポーツ大会等に伴う県内宿泊者数の増加	目標値		300人	1,000人
	実績値	0人	－	
スポーツコミッションウェブサイトの閲覧数	目標値		1,000pv	1,200pv
	実績値	0pv	－	
県民のスポーツ実施率	目標値		43.8%	53.8%
	実績値	38.8%	－	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため未記載

＜令和7年度の主な取組及び成果＞

- 1 金沢文化スポーツコミッション代表の平八郎氏の講演会を開催し、スポーツツーリズムの推進について、関係団体と意見交換を行った。さらに、アランマーレ富山を含む関係団体と先進地である栃木県那須塩原市と矢板市を視察し、スポーツコミッション設立の経緯や運営上の課題などを学んだ。
- 2 アランマーレ富山と協力し、多様な年代が参加する新たなスポーツイベントとして水鉄砲を用いた水合戦イベントを内川で実施し、地域活性化に取り組んだ。

＜令和8年度以降の取組＞

射水市の目指すスポーツツーリズムについて検討し、民間事業者間の連携体制の構築を図り、スポーツツーリズム地域活性化ビジョンを策定する。

⑦寿司を突破口としたブランディングによる関係人口増加プロジェクト事業【県連携事業】

事業費 22,863千円
 交付金額 11,431千円

＜計画概要＞R6～R8

多くの方に富山県を認知し、関心を持ってもらえる状態を作り出す必要があるため、寿司をキーワードに戦略的に富山県の魅力を伝え、富山県の価値を高めるための地域ブランディングを推進する。

●寿司をフックとしたプロモーション等による観光消費額増に向けた取組
 射水の寿司PRイベント

●ブランド基盤を支える取組
 寿司店等誘致事業、新規漁業就労者支援事業、寿司人材育成事業、寿司店等新規出店維持事業

KPI		R5	R6※	R8
地域の観光消費額 ※ブランディング戦略による観光消費額の増加額	目標値		66億円	184.0億円
	実績値	0.0億円	58億円	
担い手育成関係事業に参画した人数	目標値		15人	47人
	実績値	0人	4人	
磯根資源養殖生産量	目標値		0.0トン	2.1トン
	実績値	0.0トン	0.0トン	
主要都市圏で「寿司と言えばイメージする都道府県」で「富山県」を第一想起する方の割合	目標値		20.0%	40.0%
	実績値	8.9%	7.7%	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜令和7年度の主な取組及び成果＞

- 1 台湾高雄市にて、新湊漁港で水揚げされた魚を使った寿司のPRイベントを開催し、現地旅行会社から50社79名が参加、本市の寿司の魅力を台湾の方々へダイレクトにお伝えすることができた。
- 2 寿司店等誘致事業においては、首都圏等の寿司職人や飲食店関係者を対象に、射水市の食材や出店環境等の魅力を発信するとともに、POP UPイベントやモニターツアーの実施を通じて、出店候補者の発掘から出店に向けた取組を実施した。
- 3 寿司店等新規出店維持事業においては、射水市内に寿司を提供する料理店の新規出店や維持及び継承する取り組みを支援するため、料理の付加価値を高める厨房機器等の取得に対し補助を行った(1件)。
- 4 寿司人材育成事業においては、寿司教室の開催や、寿司と魚をテーマとした絵本の配布を通じて、将来的な寿司職人の担い手育成につなげた。
- 5 首都圏において、本市産海産物を使用した期間限定フェアを開催したほか、著名なグルメリポーターを活用し作成したPR動画をSNSで発信するなど、本市の認知向上を図った。

＜令和8年度以降の取組＞

- 1 台湾台北市にて、寿司のPRイベントを開催し、本市の寿司の魅力を台湾の方々へダイレクトにお伝えする。
- 2 引き続き、寿司店の誘致活動や新規出店・事業継続に向けた支援等を実施するとともに、将来的な寿司職人の担い手育成に取り組み、市内における寿司店の出店機運の醸成を図る。
- 3 新規漁業就業者応援事業においては、引き続き、かにかご・定置網の新規漁業就業者に対して住居及び生活サポートを実施する。

⑧地域の「投資」と「参画」による駅を中心とした交通まちづくり事業【県連携事業】

事業費 761千円
交付金額 380千円

＜計画概要＞R6～R8

県民のウェルビーイングを向上させる最適な交通サービスを実現するために、地域の「投資」と「参画」を得るとともに、本県が有する鉄軌道ネットワークという「財産」をまちづくりに活かし、地域による駅を中心とした交通まちづくりを推進する。

- 地域公共交通ネットワーク内の移動・交流の創出に対する「投資」事業
富山県地域公共交通情報提供推進協議会負担金、位置情報システム委託料

KPI		R5	R6※	R8
地域の人口・世帯数（人／年）	目標値		995,989人	975,612人
	実績値	1,006,367人	991,727人	
中心市街地等の歩行者通行量（富山市・高岡市の中心市街地及び駅周辺の歩行者通行量）（人／年）	目標値		67,772人	67,316人
	実績値	67,658人	70,515人	
県民1人当たりの地域交通利用回数（回／年）	目標値		41.5回	44.9回
	実績値	39.8回	42.0回	
県内の自動車保有台数（貨物・特殊車両除く）（台／年）	目標値		568,728台	533,008台
	実績値	586,588台	574,670台	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜令和7年度の主な取組及び成果＞

県・交通事業者と連携してバスロケーションシステムの開発に当たるとともに、データの更新を行い、各バス停に専用QRコードの掲示を行った。また、連携自治体、交通事業者、沿線の商店・観光施設などと協力し、ロケーションシステムの活用を促すことにより、地域交通の利便性の向上につなげることができた。

＜令和8年度以降の取組＞

今後も引き続き時刻表データの更新等システムの維持管理を適切に実施するとともに、データの利活用や地域交通の利用促進に取り組む。

⑨多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業
【県連携事業】

事業費 1,818千円
交付金額 909千円

＜計画概要＞R3～R7

本県の自然、食、住環境、伝統文化等が有する「価値」に共感してもらえるターゲット層に戦略的にアプローチし、コアな富山県ファン・リピーターの獲得、定住も視野に入れた観光交流の促進等による県内経済の活性化を目指す。

●アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり

DMOデータマーケティング強化、若手観光人材等の育成、県民総ぐるみによるおもてなし機運の醸成等

KPI		R2	R6※	R7
観光消費額単価(宿泊・日帰り) (円/人回)	目標値		10,795円	11,900円
	実績値	8,880円	13,468円	
観光入込客数	目標値		12,429人	13,724千人
	実績値	11,039千人	13,476人	
日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数	目標値		37,500人	40,000人
	実績値	15,000人	14,440人	
県立美術館等の年間来館者数	目標値		720,000人	920,000人
	実績値	400,000人	703,082人	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜令和7年度の主な取組及び成果＞

とやま観光推進機構が企画するWEBサイト(VISIT富山県)の旅行商品として、「内川ナイトクルーズ」や「新湊漁港昼セリ見学」等の日帰りツアーを販売し市内への誘客を図った。また、射水市公式フォトアンバサダーでもあるイナガキヤスト氏の内川等の写真も活用し、市内の魅力の発信を行った。

＜令和8年度以降の取組＞

引き続き、とやま観光推進機構を中心に、連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力の上、特に当該市の観光振興施策に取り組む。

⑩Toyama Digital Transformation Project【県連携事業】

事業費 2,010千円
 交付金額 1,005千円

＜計画概要＞R4～R8

「県民目線」「スピード感」「現場主義」の3つの視点で、デジタルによる変革(DX)及びDXによる働き方改革を強力に推進していくことにより、県民の「真の幸せ(ウェルビーイング)」を追求する。

- デジタル基盤づくり
 センサーデータ等の収集・活用

KPI		R3	R6※	R8
データ利活用による地域課題解決の取組件数	目標値		32件	50件
	実績値	0件	28件	
データ利活用を推進する官民連携の組織に参加する企業・団体数	目標値		180団体	300団体
	実績値	0団体	1,057団体	
県立大学でのDX関連教育を受けた社会人数	目標値		110人	170人
	実績値	20人	106人	
県立大学におけるDXに関する相談受付件数	目標値		15件	25件
	実績値	0件	15件	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜令和7年度の主な取組及び成果＞

- 県、市町村でシームレスなデータ活用基盤を構築するためIoTによるデータの収集を行った。
- ・ため池の雨量・水位データ
- ・センサー、カメラによる積雪データ
- ・排水路の水位データ

＜令和8年度以降の取組＞

- 県民の利便性向上や地域課題の解決を図るため、引き続き県や他市町村と連携してセンサーデータ等の収集を行う。

⑪開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト【県連携事業】

事業費 2,746千円
 交付金額 1,373千円

＜計画概要＞R4～R8

グリーン・トランスフォーメーション、サーキュラー・エコノミー（循環経済）の確立、それらを下支えする基盤となるデジタル・トランスフォーメーション（DX）を有機的に統合・推進し、再生可能エネルギーの地産地消や環境・エネルギー産業の育成等により地域活性化や産業活性化、防災力強化も併せて実現することにより、脱炭素社会において持続し、選ばれる「開疎な脱炭素コミュニティ」の構築を目指す。

- 水資源の保全、活用
 海王丸パークでのイベントへの補助

KPI		R3	R6※	R8
エネルギーの消費量の2013年度比の削減率	目標値		22.7%(R4)	24.2%
	実績値	16.4%(R2)	24.5%(R4)	
県内市町村での地球温暖化対策推進法実行計画（区域施策編）の策定率	目標値		86.6%	100.0%
	実績値	26.7%(R2)	86.7%	
一般廃棄物循環利用率	目標値		27.2%	28.0%
	実績値	26.0%	25.3%(R5)	
北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数	目標値		979人	1,039人
	実績値	889人	1,023人	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

＜令和7年度の主な取組及び成果＞

県と連携して「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念モニュメントが設置されている海王丸パークのイベントにおいて、パーク利用者や市民、観光客向けのSDGs啓発活動を実施した。

＜令和8年度以降の取組＞

海王丸パークで実施するイベントや海王丸の保存活用事業を通じてSDGs啓発活動を実施し、富山湾の環境保全、魅力向上等に繋げる。

6 総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標

項 目	新規	数値目標、KPI	基準 年度	基準値	目標値 (令和11年度)	目標値の確認方法
基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの 学びの環境づくり	数 値 目 標	「子育てが楽しい」と回答する割合	R5	98.1 %	100 %	健診に来た保護者へのアンケート結果
		「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	R5	(小)92.5 % (中)83.6 %	(小)100 % (中)100 %	毎年全小中学校にて実施するアンケート調査結果
妊娠前から切れ目のない支援 の充実		子育てに自信が持てなくなることがある親 の割合	R5	32.2 %	減少	健診に来た保護者へのアンケート結果
出会いの場の創出		出会いイベント等参加者数	R5	75 人	140 人	婚活サポーターズクラブ主催のイベント及 び市が助成し民間が主催するイベントの件 数
親と子の健康づくりの推進		この地域で子育てをしたいと思う親の割合	R5	98.6 %	100 %	健診に来た保護者へのアンケート結果
		父親が育児に参加する割合	R5	94.6 %	100 %	健診に来た保護者へのアンケート結果
多様な保育サービス・子育て 支援の充実		特別保育の充足率	R5	53.9 %	58 %	全国に占める延長保育や一時預かり、休日 保育、病児・病後児保育(特別保育)を実施 する園の割合
子ども・若者・子育て当事者を 地域全体で支え合う機運の醸 成		子育て世帯を支援する地域の取組状況 (ファミリーサポートセンターの利用)	R5	年間利用回数 741 回 協力会員数 314 人	900 回 400 人	ファミリーサポートにおける子育てを支援 してほしい人がサービスを利用した回数と 子育て家庭を応援したい人が協力員として 登録した人数
専門的な相談支援の充実	重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I)	子育てに困った時に対応できる親の割合	R5	86.5 %	増加	健診に来た保護者へのアンケート結果
困難を有する子ども・若者や その家族の支援		子どもの悩みの相談先の認知度	R5	48.2 %	80 %	毎年全小中学校にて実施するアンケート調 査結果
豊かな心と健やかな体の育成		「自分にはよいところがあると思う」児童生 徒の割合	R5	(小)87.7 % (中)87.8 %	100 %	毎年全小中学校にて実施するアンケート調 査結果
郷土愛を育む教育の充実		「地域の行事に参加している」児童生徒の 割合	R5	(小)69.9 % (中)47.5 %	増加	毎年全小中学校にて実施するアンケート調 査結果
国際化、情報化に対応した教 育の充実		授業でICT機器を「ほぼ毎日」使用した児 童生徒の割合	R5	(小)12.7 % (中)10.5 %	100 %	毎年全小中学校にて実施するアンケート調 査結果
信頼される教育の推進		コミュニティ・スクールの設置数	R5	0 校	20 校	各小・中学校のコミュニティ・スクール設置 校数
新たな学びの場の創出		学びの地域拠点の設置数	R5	0 件	5 件	市内の高等教育機関の学びの拠点(研究 フィールド)創出件数(累計)
高等教育機関との連携の推進		高等教育機関との連携事業数	R5	11 件	40 件	市と高等教育機関が連携して実施する事 業数(累計)
家庭の教育力の向上支援		親を学び伝える学習プログラムの参加率	R5	29.3 %	70 %	市内全小・中学校の児童・生徒数のうち「親 学び講座」への延べ参加者数の割合
地域における子どもの成長支 援		放課後子ども教室等参加率	R5	16.1 %	20 %	市内全小学校児童数のうち放課後子ども 教室及び土曜学習推進事業の登録児童数 の割合
スポーツ・レクリエーションの 推進		スポーツ指導者数	R5	261 人	220 人	(公財)日本スポーツ協会に登録している市 内の公認スポーツ指導者数
生涯学習活動の推進		生涯学習講座の年間延べ受講者数(コミュ ニティセンター27館)	R5	33,061 人	40,000 人	地域振興会がコミュニティセンター等で開 催する生涯学習講座の年間延べ受講者数
		市民一人当たりの図書貸出冊数	R5	4.7 冊	6.3 冊	市内図書館全館の利用者を対象とした市 民一人当たりの年間貸出冊数

項 目		新規	数値目標、KPI	基準 年度	基準値	目標値 (令和11年度)	目標値の確認方法
基本目標2 地域のしごとづくり	数 値 目 標		雇用創出数(年間求人数)	R5	8,183 人	11,000 人	ハローワーク高岡管内の年間求人数
			6次産業化推進事業件数(累計)	R5	8 件	14 件	補助事業を活用して6次産業化に取り組んだ事業者数
商工業の振興	重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)		産学官金共同研究の年間件数	R5	6 件	17 件	市内企業と高等教育機関等との共同研究件数
			製造品出荷額等	R3	5,604 億円	(R9)6,100 億円	経済産業省「工業統計調査」及び「経済センサス-活動調査」の公表数値
			中小企業販路拡大支援事業における成約率	R5	33 %	36 %	販路等拡大支援事業補助金を活用し、中小企業者等が展示会や商談会等に出店した際の年間成約率
		農産物の販売額	R5	2,678 百万円	2,877 百万円	JAいみず野が1年間に取り扱う生産者からの農産物受託販売額	
		農業法人の経常利益額	R5	351 百万円	572 百万円	市内農地所有適格法人の事業報告における経常利益の総額	
		1人当たりの漁業所得	R4	5,674 千円	(R10)6,071 千円	漁業者等の1人当たりの漁業所得額の過去5か年の最高額と最低額を除いた3か年の平均	
持続可能な農林水産業の推進			担い手への農地集積率	R5	86.2 %	90 %	水田台帳面積のうち、担い手の耕作面積の割合
			新規就農者数(累計)	R1-R5	3 人	10 人	市が認定する認定新規就農者
			化学肥料低減の取組面積(緑肥)	R5	57.8 ha	115 ha	大麦の作付け後、あるいは大豆作付け前に行う土づくりのための緑肥の施用面積
		新規漁業就業者数(累計)	R1-R5	6 人	10 人	市が認定する認定新規漁業就業者の数	
企業誘致の推進		企業団地分譲率	R5	97.1 %	100 %	市内企業団地の分譲率	
創業支援、事業承継の推進		創業支援事業補助金利用件数	R5	24 件	29 件	創業支援事業補助金を利用して起業・創業した事業者の数	
多様な働き方ができる雇用環境の整備促進		サテライトオフィス等開設支援事業件数	R5	1 件	12 件	サテライトオフィス等開設支援事業の利用件数(累計)	
		障がい者雇用奨励件数	R5	3 件	7 件	障がい者を常用雇用する事業所の補助金利用件数	
雇用対策の充実と職場環境の向上		ゆとりライフ互助会加入者数	R5	692 人	761 人	「ゆとりライフ互助会」への加入者数	
女性活躍の推進		女性の管理職比率	R5	12.5 %	30 %	射水市企業状況調査における女性管理職の割合	
基本目標3 安心して暮らせる多様性・寛容性のある地域づくり	重 要 業 績 評 価 指 標 (KPI)		地域支え合いネットワーク共生社会構築事業を実施する地域数	R5	2 地域	8 地域	地域支え合いネットワーク共生社会構築事業を実施する地域数
			まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	R5	48.4 %	50 %	まちづくり講座(まちプラ、まちづくりセミナー等)への参加者に対するアンケート
特性を生かしたまちづくりの推進			市街化区域内農地の宅地転換率	R5	19.1 %	29.6 %	市内の市街化区域内にある農地のうち、宅地化された割合
道路網の整備			主要幹線道路の改良率	R5	51.9 %	85 %	市道幹線道路の改良割合
			歩道の設置割合	R5	48.4 %	49 %	改良済み市道(幅員5.5m以上)に占める、歩道が設置されている道路延長の割合
港湾整備の促進			海上出入貨物量	R5	4,322 千トン	4,573 千トン	富山新港における年間海上出入貨物量
			旅客船接岸数	R5	1 回	5 回	富山新港海王岸壁へのクルーズ船の寄港数
上下水道の充実			上水道管路耐震化率	R5	51.4 %	55.5 %	水道管路延長に占める、地震発生時に水道水を流すことができる管路の割合
			上水道管路経年化率	R5	28.9 %	38.0 %	水道管路延長に占める、法定耐用年数40年以上経過した管路の割合
			下水道老朽管路改善率	R5	46.0 %	70 %	耐用年数経過管路に占める改築延長の割合
公共交通網の整備			地域内循環交通の運行体制整備件数	R5	4 件	8 件	コミュニティバスと接続する、地域内循環交通の運行体制整備件数
住環境の整備			公営住宅長寿命化改善率	R5	42.9 %	85.7 %	公営住宅等長寿命化計画に基づき施行した改善事業の割合
空き家対策の推進			空き家等情報バンクや補助制度等を利用した空き家の利活用数	R5	33 件	80 件	市空き家等情報バンクや補助制度等を利用して利活用された空き家の件数

項 目	新規	数値目標、KPI	基準 年度	基準値	目標値 (令和11年度)	目標値の確認方法
生活空間の整備・充実		都市公園長寿命化整備率	R5	17.5 %	(R9) 63.3 %	都市公園施設長寿命化計画第2期に基づき整備した公園の割合
		基幹的な公園へのインクルーシブ遊具の設置数(累計)	R5	0 基	6 基	基幹的な公園へインクルーシブ遊具を設置した数
防災・減災、国土強靱化の推進		地域振興会から推薦され資格取得した防災士数	R5	92 人	212 人	地域振興会から推薦され資格取得した防災士数
		地区防災計画策定数	R5	1 地域	27 地域	地区防災計画を策定した地域振興会数
		雨水対策事業整備率	R5	35.0 %	42 %	雨水対策予定区域のうち整備が完了した面積の割合
		避難行動要支援者登録率	R5	45.4 %	52 %	避難行動要支援対象者のうち、平常時から避難支援等関係者に情報を提供している人の割合
		消防団員の充足率	R5	86.4 %	100 %	射水市消防団条例に定める消防団員の定員の充足率
消防・救急体制の強化		消防団員の充足率	R5	86.4 %	100 %	射水市消防団条例に定める消防団員の定員の充足率
雪対策の推進		地域ぐるみ除排雪機械台数	R5	79 台	82 台	地域振興会等に貸与する地域ぐるみ除排雪機械の総台数
		消雪施設遠隔監視システムの導入割合	R5	44.2 %	100 %	射水市全域に点在する消雪施設のうち遠隔操作及び監視システムを導入した施設数の割合
交通安全、防犯、消費生活対策の推進		交通事故死者数	R5	2 人	0 人	射水市における年間の交通事故死者数
		犯罪発生件数	R5	301 件	270 件	射水市における年間の刑法犯認知件数
		消費生活教室受講者数	R5	688 人	1,300 人	射水市が実施した消費生活教室の受講者数
多様な価値観や違いを認め合う社会の形成		多様な価値観の理解に関する講座等の参加者数	R5	195 人	220 人	市や関係団体が開催する各種講座等への参加者数
ジェンダー平等(男女共同参画)の推進		男性の育児休業取得率(産後パパ育休を含む)	R5	49.1 %	80 %	射水市企業状況調査における男性の育児休業取得率
		審議会等における女性委員の登用率	R5	25.2 %	40 %	審議会等における女性委員の割合
人権尊重・権利擁護の推進		子どもが、家族や周りの大人から「自分は大切にされている」と回答する割合	R5	98.7 %	100 %	毎年全小中学校にて実施するアンケート調査結果
社会保障の充実		生活困窮者等で就労支援を受けた人が就労した割合	R5	78.7 %	90 %	生活保護受給者等就労自立促進事業の支援対象者のうち、就労した人の割合
ペットとの共生		犬猫に関する相談苦情件数	R5	27 件	63 件	高岡厚生センター射水支所に寄せられる犬猫に関する相談苦情件数
地域共生社会の実現に向けた体制づくり		多職種連携支援システムの利用者数(累計)	R5	261 人	500 人	多職種連携支援システムの利用者数
障がい者福祉の推進		在宅で生活する障がい者等の緊急時の受入可能事業所数	R5	0 か所	7 か所	在宅で生活する障がい者等の一時的な受入れ対応を行うことができる施設数
生きがい・居場所づくり、活躍の場の創出		射水市シルバー人材センター会員数	R5	645 人	655 人	射水市シルバー人材センターの会員数
高齢者福祉の推進		認知症サポーター養成者累計人数	R5	16,081 人	21,100 人	市が実施する認知症サポーター養成講座を受講した累計人数
健康づくりの推進		健康寿命	R5	男性79.70 歳 女性83.90 歳	延伸	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間
		特定健康診査	R4	受診率 49.2 %	(R10) 60 %	国保加入者(40歳以上)のうち、特定健康診査を受診した者の割合及び特定保健指導を実施した者の割合
				保健指導実施率 40.6 %	(R10) 60 %	
地域医療体制の充実		休日・夜間診療の年間実施率	R5	100 %	維持	平日の夜間や日曜日・祝日などに急病の診療を実施している日数の割合
市民病院における医療の質の向上と健全運営		一般病床稼働率	R5	69.9 %	75 %	{延入院患者数÷(病床数×稼働日数)}×100
感染症対策の推進		予防接種率(麻しん・風しん)	R5	96.6 %	98 %	予防接種対象者のうち接種した人数の割合

項 目	新規	数値目標、KPI	基準 年度	基準値	目標値 (令和11年度)	目標値の確認方法
基本目標4 人か行き交う持続可能なまちづくり	数 値 目 標	純移動数 (転入者数－転出者数)	R1- R5 累計	378 人	300 人	富山県人口移動調査による
		まちづくりに参画した学生・生徒 の数	R5	456 人	600 人	市と連携した事業に参画した学生・ 生徒数
観光の振興		観光客入込数	R5	3,484,574 人	4,500,000 人	富山県が把握する観光地点、イベン ト等における入込数(1月-12月)
		市内宿泊者数	R5	73,565 人	155,000 人	市内宿泊施設の宿泊者数(1月-12 月)
		内川周辺エリアへの新規出店数	R5	21 件	27 件	空き家等をリノベーションして活用 した内川周辺エリアへの新規出店 数(累計)
		観光集客施設立地促進助成金制 度利用数	R5	5 件	10 件	助成金制度を利用して観光客を対 象とした集客施設やホテル等が立 地した件数(累計)
射水ブランドの確立と付加 価値の向上		ふるさと納税における寄附額	R5	309,263 千円	459,394 千円	市外から寄せられる「ふるさと納 税」の寄附額
移住・二地域居住の促進		移住相談窓口や制度を活用した 市外からの移住者数	R3- R5 平均	116 人	210 人	市の移住支援・補助制度や移住相 談窓口を利用した人で実際に移住 した人数
シティプロモーションの推 進	新 R8	ホームページのアクセス件数	R5	1,188,184 件	938,000 件	トップページの年間アクセス件数
		SNS(X、Instagram、 YouTube等)のフォロワー・チャ ンネル登録者数	R5	10,699 人	17,000 人	射水市公式Twitter、 Instagram、YouTube等のフォ ロワー・チャンネル登録者数
		市民の推奨意欲指数	R7	-10.6 ポイント	10 ポイント	総合計画に関するアンケート調査 における推奨意欲
多文化共生社会の形成		多文化共生キーパーソン登録者 数	R5	23 人	50 人	多文化共生キーパーソンの登録者 数
姉妹都市・友好都市との交 流		交流事業参加者数	R5	666 人	700 人	市や関係団体が実施する交流事業 に参加及び受け入れた人数
新たな交流や多様なかわ り方の促進		コンベンション開催事業等での県 外からの宿泊者数	R5	954 人	2,000 人	コンベンション開催事業補助金等 を活用した県外からの延べ宿泊者 数
		スポーツ合宿の誘致数	R5	1 件	30 件	市内での宿泊を伴うスポーツ合宿 の年間件数(県外から参加したチー ム数)
協働・共創・市民参画の体 制・仕組みづくりの推進		多様な主体が連携した市民協働 事業の割合	R5	6.3 %	20 %	市民協働事業の内、多様な主体が 連携した市民協働事業の割合
		地域型市民協働事業数	R5	36 件	40 件	地域振興会が取り組む地域型市民 協働事業数
学生・生徒が参画するまち づくりの推進		学生・生徒からの政策提案の数	R5	28 件	20 件	いみず学生アイデアコンテスト一 次審査応募数と高等学校から提案を 受けた連携事業の件数の計
環境保全・自然環境との共 生		環境基準の達成率	R5	95 %	100 %	大気(2地点)、水質(30地点)、騒 音(26地点)各々の環境基準の達 成状況
		里山等での保全・交流団体数	R5	6 団体	7 団体	里山環境の保全・活用に取り組む 団体数
美しいまちづくり、人づくり の推進		アダプト・プログラム清掃活動参 加人数	R5	5,243 人	7,600 人	アダプト・プログラム清掃活動に参 加した延べ人数
資源循環型社会の形成		市民1人当たりのごみ排出量	R4	1,042 g	(R10) 983 g	(一般廃棄物排出量)÷(人口)÷ 365(日)
		リサイクル率	R4	19.5 %	(R10) 23.4 %	(一般廃棄物総資源化量)÷(一般 廃棄物排出量)
カーボンニュートラルの実 現		温室効果ガス排出量	R3	961 t-CO ₂	(R9) 751 t-CO ₂	市内から生じる温室効果ガス年間 排出量
芸術文化活動の振興と文化 資源の保存・活用		指定文化財及び登録文化財の件 数	R5	150 件	維持	国、県、市のいずれかの指定文化財 数と国の登録文化財として登録さ れた文化財数の計
信頼される市政の推進		コンビニ交付サービス利用率	R5	29.0 %	37 %	各種証明発行件数に占めるコンビ ニ交付件数の割合
公共施設マネジメントの推 進		公共施設等に関する公民連携事 業の実施数	R5	8 件	19 件	公共施設及び未利用市有地等に関 する民間提案制度に基づいて実施 した公民連携事業数
健全な行財政運営の推進		行財政改革集中改革プラン進捗 状況	R5	65.0 %	100 %	計画どおりに進捗している取組の 割合
広域的なまちづくりの推進		呉西圏域連携事業のうち、目標を 達成した事業の割合	R5	71.9 %	80 %	射水市が圏域内の市と連携して実 施する事業のうち、目標を達成し た事業の割合
自治体DXの推進		オンライン化手続率	R5	20.4 %	100 %	法律等で紙による提出を義務付け ている手続以外をオンライン化し た割合
		テレワーク制度利用者数(年間延 べ人数)	R5	123 人	400 人	テレワーク制度を利用した市職員 の数